



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2016 年 3 月 3 日

氏名：高柳栄子

所属機関・職名：東北大学大学院理学研究科地学専攻・助教

活動の種類 (該当項目を残す)	Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	IODP Exp. 356 Indonesian Throughflow
乗船時の役割	Inorganic Geochemist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2016 年 2 月 17 日 ~ 2016 年 2 月 29 日
用務地 (国・都市)	アメリカ合衆国・テキサス州
本活動における成果 <p>7 月 31 日 (金) ~ 9 月 30 日 (水) の 62 日間に渡り、研究航海「IODP Expedition 356 Indonesian Throughflow」が開催された。本研究航海では 7 サイトでの掘削が行われ (U1458, U1459, U1460, U1461, U1462, U1463, U1464), 約 5 km のコア試料を採取することができた。今回は、採取されたコア試料を各研究者に配分するため、乗船研究者ならびに陸上研究者がカレッジステーション (テキサス) に集まり、2 月 19 日 (金) ~ 26 日 (金) の日程でサンプリングパーティーが開催された。</p> <p>2 月 19 日 (金) ~ 26 日 (金) の間、サンプリングパーティーに参加した乗船研究者ならびに陸上研究者約 25 名が午前もしくは午後のシフトに分かれ、2 人 1 組が 6 台のテーブルに分かれて、それぞれに与えられた試料の分取を行った。私は、Briony Louise さんと一緒に Site U1462 HoleA~C の試料を採取した。全てのテーブルの作業は問題なく進み、予定通り終わることができた。そして、27 日 (土) に帰途に着いた。</p> <p>今後は、今回リクエストした試料を用い、共同研究者と共に、オーストラリア大陸の気候変動と東インド洋の海洋環境変動との関係を明らかにしていく。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2016 年 3 月 11 日

氏名：石輪 健樹

所属機関・職名：東京大学大学院・大学院生

活動の種類 (該当項目を残す)	3. Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 356 Indonesian Throughflow
乗船時の役割	Physical Properties Specialist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2016 年 2 月 18 日 ~ 2016 年 2 月 28 日
用務地 (国・都市)	College station, Texas, United States
本活動における成果 <p>IODP Expedition 356 Indonesian Throughflow 航海は 2015 年の 8-9 月に行われ、約 5,000 m の堆積物コア試料が採取された。今回、その堆積物コア試料から各研究者のサンプルを採取する作業が、アメリカ合衆国の college station で行われた。</p> <p>約 20 名の研究者が参加し、当初の予定では 7 日間で約 1700 サンプルが採取されるはずだった。しかし、作業は想定よりも早く進み、約 5 日間で全ての作業が終了した。船上でも sampling を行っていたので、皆作業方法を知っていたことがその要因であると思う。作業は 2 人一組のチームで行われ、スタッフがその補助にあたるとう形だった。また、昼シフトには昼食が、夜シフトには夕食が施設内で配給された。sampling に加え、船上で採取された pilot sample から得たデータの議論・これからの研究戦略などを共同研究者と話し合うことができ、非常に有意義な sampling party であった。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



Report on IODP Expedition Related Activities

Reporting date (Day/Month/Year): 14/03/2016

Name: Resti Samyati Jatiningrum

Affiliation and job title: Akita University/Student

Type of activities (leave one)	3. Sampling party
IODP Expedition Number and Name	EXP 356 / Indonesian Throughflow
Responsibility in the expedition	Paleontologist (Nannofossil)
Activity Period (including transportation)	From (17/02/2016) to (29/02/2016)
Venue (city and country)	College Station, USA
<p>Sampling party of EXP 356 was held at IODP Texas A&M University, College Station went smoothly. Approximately 15 people did sampling for around 15000 samples. Sampling shift was scheduled from 8 AM to 8 PM, divided into 2 shifts; morning shift from 8 AM to 2 PM and afternoon shift 2 PM to 8 PM. On the first day we were given instruction about what will we do during the sampling party.</p> <p>Six tables were prepared and we sampled all samples that approved by SAC. Two adjacent tables used for splice sampling cores of Hole B, C, and D from Site U1463 (Table 4 and 5). Core from other sites sampled on table 1, 2, 3, and 6. We need to finish all the sampling within 8 days. Fortunately, we could finish the sampling earlier than scheduled. We took advantage of the remaining time to discuss with other researcher about further research collaboration.</p>	
Notes	

Note:

1. The report should be submitted to the J-DESC/IODP Travel Support by email (travel@j-desc.org) **within two weeks after the activity.**



国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2016 年 3 月 7 日

氏名： 岩谷 北斗

所属機関・職名：香港大学・ポスドク研究員

活動の種類 (該当項目を残す)	Sampling party
IODP 研究航海番号 および航海名	Exp.356, Indonesian Throughflow
乗船時の役割	Sedimentologist
出張期間 (移動も含む)	2016 年 2 月 17 日 ~ 2016 年 2 月 29 日
用務地 (国・都市)	アメリカ合衆国・カレッジステーション
本活動における成果 <p>2016 年 2 月に、カレッジステーションにて実施されたサンプルパーティーに参加した。本サンプルパーティーは、昨年、夏におこなわれた IODP、Exp. 356 (Indonesian Throughflow) にて得られたコア試料から各研究者が事前にリクエストした各々の研究用の試料を取り分けることを目的としたものである。サンプルの取り分けは、午前・午後の 2 シフト制でおこなわれた。</p> <p>それぞれの研究者ごとに異なる試料量を様々な採取法で取り分ける必要があったが、事前におこなわれた詳細な説明により、順調にサンプリングをすることができた。また、コア試料の擾乱や固結度の兼ね合いから、希望の層準から採取できない場合も多々見受けられたが、その都度、試料をリクエストした研究者に確認を取り、最適な層準に調整するなど柔軟な対応がとられた。</p> <p>報告者は、2 サイトから微化石分析用の約 600 試料をリクエストしたが、各研究者と IODP のテクニシヤンの協力により、状態のよい (擾乱や溶解の影響の少ない) 試料を得ることができた。今後、今回のサンプリングパーティーで得られた試料を用い、乗船研究者・陸上研究者と密に連携を取りながら、研究を進めていく予定である。</p>	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。